

## 惣開校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成22年7月13日(火) 19:00~20:45  
場 所 惣開公民館二階大ホール  
参加者数 男 50人 女 40人 合計 90人



### 1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 ( 地域福祉について )

(質問)

惣開校区は、現在は、他の校区に比べ若い世代の割合が高いが、やがては若い世代も高齢者となる。平均寿命も延びており、元気に年齢を重ねていくことは大事なことである。地域福祉においても、高齢者福祉に対する関心は、今の高齢者世代だけでなく、若い世代にとっても親世代との関わりなどもあることから、非常に高いものがある。近年は、いろいろな施設も建設されている。そのようなことから、高齢者に対するサービスも多岐にわたっていると思う。そのため、具体的に、どのような場合にどのようなサービスを受けられるのか、また、どこにまず相談したらよいかなど、迷うときもある。今回、この機会に高齢者に対するサービスのメニュー、負担、相談窓口などの説明をお願いする。

また、高齢化により、都会では独居高齢者の孤独死などが問題になってきている。独居の高齢者は、様々な問題を抱えている場合があると思う。市では、独居高齢者の生活のため、どのようなことを考えているのかをお伺いする。

(回答：市長・介護福祉課長)

高齢者サービス、介護サービスなどについて、パワーポイントも用いながら説明。

## 2. 校区設定市政課題

課題名（ 校区の産業遺産の保存と活用について ）

（質問）

惣開校区では、地域の特性を生かしたまちづくりとして、様々な取り組みをしてきた。昨年のまちづくり校区集会では、校区の産業遺産の保存と活用を、これからの10年のまちづくり、という視点で提言した。

星越地区では、歴史的にも価値の高いといわれている山田社宅の大半が解体され、星越のシンボリック的存在の選鉱場も近いうちに解体されると聞いている。昭和初期の面影を残す美しい景観が少しずつ失われ廃退していくことを残念に思っている。

惣開校区の産業遺産や施設は新居浜にとってかけがえのない貴重な資源や資産であり、新しい新居浜のまちづくりに生かすべきだと考える。

惣開校区では、今年度は、一昨年に製作した産業遺産マップを使った講座や、大人から子供までが楽しんで参加できるワークショップなど、まちづくりにつながる活動を計画している。新居浜市においても今まで以上にこの問題に取り組んでくださることを切に望んでいる。

質問事項として

- 1 別子銅山保存活用連絡調整会の現状と、星越社宅についての現況調査の結果について
- 2 産業遺産の保存と活用のためには、用地の取得や施設の市への移管が必須と思うが、市の考えについて
- 3 昨年の校区集会での、「これからの10年のまちづくり」の提言は、第5次新居浜市長期総合計画にどのように生かされていくのか、その道筋について

（回答：市長・別子銅山文化遺産課長）

惣開校区では、地域の特性である別子銅山産業遺産の保存と活用にこれまでも取り組んでいただき、ことに『そうびらき「未来への鉱脈」探検マップ』の作成と、それを活用したまちづくりへの取り組みは大変立派な取り組みであると感心している。

（質問1）

別子銅山保存活用連絡調整会は、端出場以北の5つの物件（①山田社宅、②山根グラウンド石積、③旧山根製錬所煙突、④旧端出場水力発電所、⑤足谷川橋梁(打除鉄橋)・中尾トンネル）についての保存・活用の方策について協議する市行政・市教育委員事務局と物件の所有者である住友グループ4社との会である。昨年度は物件の保存活用についての実行段階まで進んでいたため、会の開催はなかったが、住友企業各社と行政の協議は、30回を越えて行った。

その中で、②③⑤の物件については、昨年の8月7日に国の登録有形文化財となった。④の物件については、今年3月末に寄贈を受け、4月1日に市の所有となった。現在登録有形文化財を目指して手続き中であり、今後の保存活用計画について考えていく。①の山田社宅は、平成19年度・20年度に星越駅舎や西洋社宅など数棟の調査を行った。調査結果についてまとまったので、近々公民館や図書館等で見ていただけるように考えている。

山田社宅については、土地所有者からの申し入れもあり、連絡調整会から進めた形でのまちなみ保存・全体再開発に向けた情報交換会を4月に始めた。今後は、この会の中で協議を重ね、基本的な考えをまとめていく。

(質問2)

旧山根製錬所煙突については、市の山林との交換によって煙突を市の所有にしたうえで保存を行った。旧端出場水力発電所については、建物は住友共同電力(株)から寄贈を受け、土地については所有者である住友林業(株)と貸借契約を締結している。今後もケースバイケースで考えていく。

(質問3)

第5次長期総合計画においては、校区集会での「これからの10年のまちづくり」の提言も活かし、【教育文化】の中で「近代化産業遺産の保存活用の充実」を取り上げ、「生きた博物館都市」を目指して、取り組んでいきたいと考えている。